施工説明書

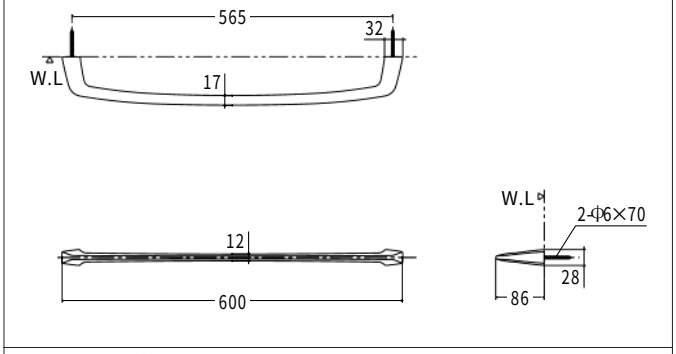
REGIOコレクション

タオル掛
FKF-R11/C
コンパクトタオル掛
FKF-R11S/C

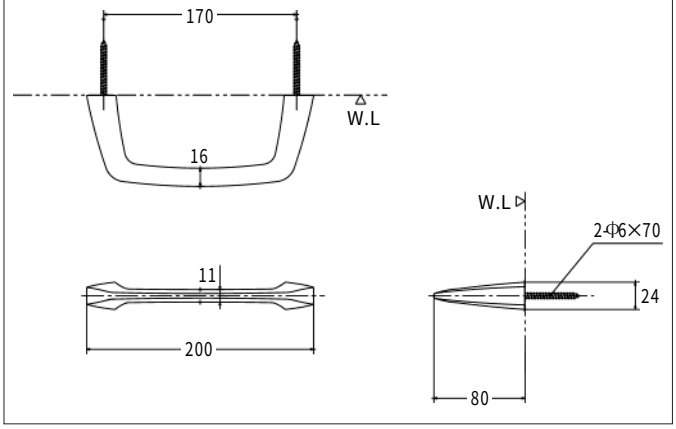
商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

●商品図

FKF-R11/C



FKF-R11S/C



●同梱部品

FKF-R11/C

部品名	数量
本体	1
固定金具	2
タッピンネジ（φ6×70）	2
皿小ネジ	2
仮止めネジ	2

FKF-R11S/C

部品名	数量
本体	1
固定金具	2
タッピンネジ（φ6×70）	2
皿小ネジ	2
仮止めネジ	2

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

注意……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 注　意

タオル掛、コンパクトタオル掛は、プラスチックプラグで施工しないでください。
※強度不足によりガタついたり脱落する恐れがあります。

●施工前のご注意

●落下事故防止のため、取付部材や壁面の構造等について以下の取付条件をお守りください。

〔乾式壁の場合〕

- 取付部材としてタッピンねじ（同梱）を使用してください。
- ねじ込み深さが30㎜以上になるように取付木（補強木）を設けてください。
- 石こうボード等のボード張りにはタッピンねじはききません。必ずあらかじめ壁裏に取付木を入れ、ねじ込み深さを確保してください。
- ボード張りの厚さは12.5㎜以下を想定しています。厚さが12.5㎜を越える場合は越えた分だけ長いタッピンねじを別途用意してください。

〔湿式壁の場合〕

- 取付部材としてAYボルト（別売）を使用してください。
※AYボルトを使用した取付け方法詳細は、工事用図面集を参照してください。

AYボルト	下穴
AY-34	Φ11×50㎜

株式会社 INAX

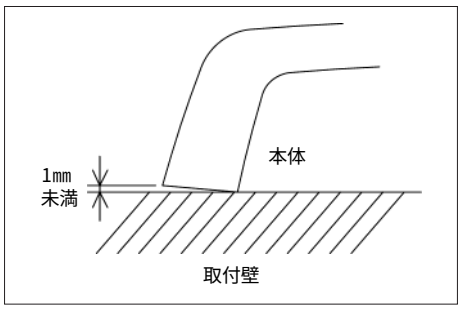
●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センター　商品相談窓口
ナビダイヤル TEL 0570-017173
受付時間　平日　9:00～19:00
土日・祝日 10:00～18:00
（年末年始、夏期休暇は除く）
※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などからはご利用できません。TEL 0562-31-0793 をご利用ください。

- 下地材はコンクリートとし、取付部の奥行は50㎜以上（コンクリートの厚さは30㎜以上）を確保してください。
- 壁仕上材（モルタル、モルタル＋タイル等）の厚さは20㎜以下としてください。
- ALC板やコンクリートブロックの中空部にはAYボルトは固定できません。
- 木ずり下地、ラスボード下地への取付けは、乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に取付木を入れ、必要なねじ込み深さを確保してください。

●取付面に凹凸がないことを確認してください。

※本体を取付壁面にあてがい、壁とのスキマが1㎜未満であることを確認してください。
固定金具が真っすぐに取り付けできず、本体がはまらない恐れがあります。

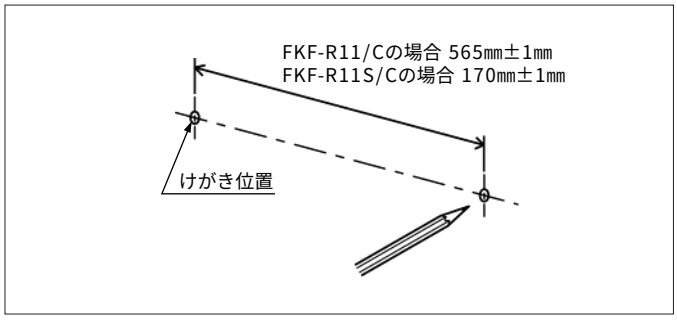
※スキマが大きい場合は、凹凸を削るか取付位置を移動するなど平面が確保される場所へ取り付けてください。



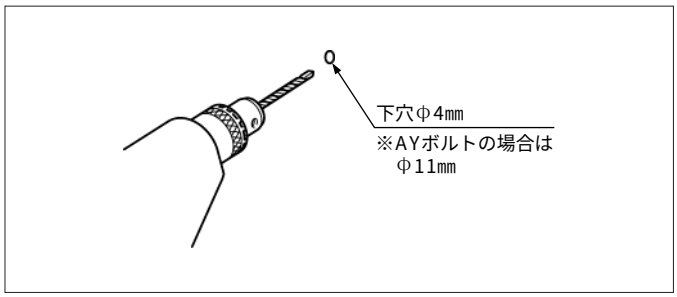
●施工方法

1. 壁面に固定金具の取り付け下穴位置をけがきます。

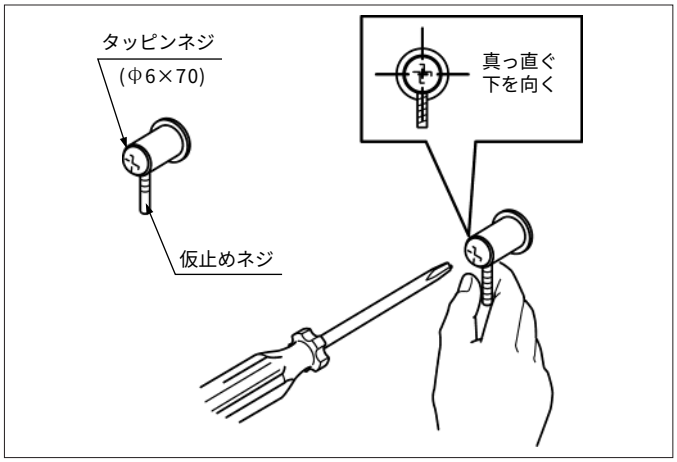
※壁面にけがく前に、本体側の穴の中心間距離の実寸法を計測し、正確に作業してください。寸法のズレが大きいと、本体取り付けができなくなる恐れがあります。



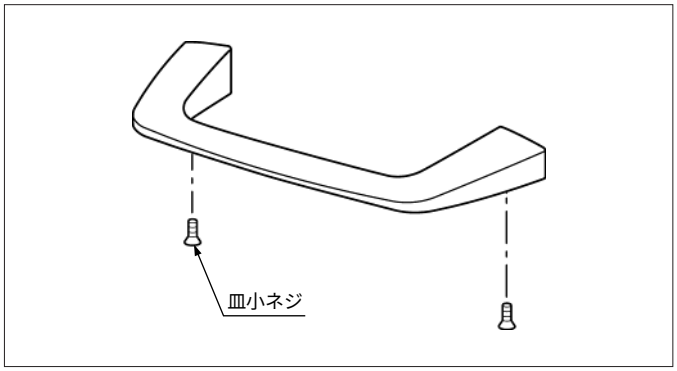
2. けがいた位置に下穴をあけます。



3. タッピンネジまたはAYボルト（別売）で固定金具を仮固定します。
4. 固定金具に仮止めネジを取り付けます。仮止めネジが真っすぐ下を向くように位置調整して固定金具を本固定します。



5. 左右の仮止めネジが真っすぐ下を向いていることを確認して後、仮止めネジを外します。
次に、本体を固定金具に差し込み、同梱の小ネジで固定します。



●施工後の注意

●本体にガタつきがなく、しっかりと壁に固定されていることを確認してください。

●取扱説明のタグが本体に引っかけてあることを確認してください。